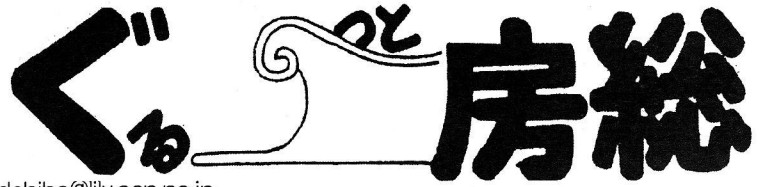


〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2011年7月10日発行 第60号 1部100円 E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp



NPO法改正法案及び新税制改革法案―国会で可決成立！



今国会での成立が危ぶまれていた2つの法案が、特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会や、NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会、NPO法人会計基準協議会等に結集した、市民サイドの粘り強い必死の働きかけにより、国会で成立しました。国会情勢が厳しい上に、東日本大震災や内閣不信任案等々で、最後の最後まで、気の抜けない日々が続きました。市民の熱意を受け、超党派によるNPO議員連盟の党派を超えた結束と、『絶対に通す』という意気込みが、国会での成立の大きな推進力になりました。

法案改正内容の一部紹介

【NPO法改正法案】

6月15日(水)全会一致で可決成立。

特定非営利活動促進法(平成10年法律第七号)の一部を改正

●活動分野の追加

①観光の振興を図る活動②農山漁村または中山間部地域振興を図る活動③都道府県または指定都市の条例で定める活動

●所轄庁の変更

法人の認定は主たる事務所が存在する都道府県の知事及び政令指定都の市長が行う。

●認定制度の柔軟化及び簡素化

*認定期間は縦覧期間終了2ヶ月以内
*届出のみで足りる定款変更の追加
①役員の定数 ②会計に関する事項③事業年度 ④解散に関する事項

●収支計算書に係る改正

民間主導で作られた「NPO法人会計基準」に合わせた会計処理の考え方を採用。収支計算書を活動計算書に、収支予算書は活動予算書に改める。

●認定制度・仮認定制度の導

「仮認定」というスタートアップ支援の制度新設。新設NPO法人でも、3年間は仮認定を受けて、税制優遇のバックアップで寄付集めができる。

●検討事項

法人名称の変更等については、3年を目途に、検討が加えられ、必要な措置が講ぜられる。

●この法案は平成24年4月1日から施行される

【新税制改革法案】

6月22日(水)賛成多数で可決成立

これにより認定NPO法人の要件が大幅に緩和されることとなります。「3千円の寄付者が年平均百人以上いる」などの要件を満たしさえすれば、従来より簡単に認定されることとなります。さらに、認定NPO法人等に寄付した個人に対して、税額控除制度(最大約50%)が導入されます。認定NPOに10万円寄付すると最大約5万円戻ってくる優遇措置です。この税額控除制度は、日本の寄付税制にとって、革命的といえる改革案です。この法案は平成23年度から施行。

【この法案改正は、NPOの新たなスタート】

この法案改正内容は、市民が要望した内容をほぼ取り入れたものになっています。認定NPO法人を取得しやすくし、日本に寄付文化を根付かせ、更に税制優遇により、NPOが活動しやすくなる環境を制度面でバックアップしようというものです。

統一した会計基準により、法人の財務状況の比較ができ、寄附をしようとする市民や企業からは、NPOの活動実態が見えやすくなります。

これらにより、NPOが社会から選ばれていく時代に入ります。これまでより更に社会への貢献性や公益性が試され、寄附金の使途や成果に対してNPOへの社会的な目は厳しくなることも考えられ、それに耐えうるNPOになることも求められていきます。そうした意味で、この法案改正は新たなNPOの時代へのスタートといえます。

【今後のスケジュール】

★NPO法関連

改正により、政令等の作成は9月頃まで、以降各都道府県で条例を作り出し、細かな点(例えば寄附者の定義、正会員が排除されるか等)については、いわゆる通達レベルのため4月以降になる見込みです。

★NPO法人会計基準関連

改正により会計帳票の名称は変更されることが決まりましたが、内容については今内閣府で立ち上げた「NPO会計手引きの改正委員会」で検討中であり、民間で策定したものがそのまま取り入れられるかは、10月を目途に出す結論を待つこととなります。

★改正により、定款変更の必要性が予測されます。

★子ども劇場千葉県センターでは、ベストなタイミングで勉強会や学習会を開きます。

(文責中村)

今、子どもの遊び環境づくりにはおとなの勉強が必要！

(6/14 参加者：98人)



子どもにとって遊びとは「楽しい」「失敗体験ができる」「子どもの人生の質を高くする」等、古来さまざまに表現され、「遊びの価値」を否定する人はいません。「トトロを100回観るより観るのは1回にして、99回は外で遊んでほしい」と言ったのはトトロの作者、宮崎駿さんです。しかし、今の環境では子どもが思いっきり遊びこむことは放っておいてはむずかしいのです。

子どもの声を聴きながら、具体的な「遊びの絵地図」なども描きながら、安全な環境づくりをしていく必要があります。嶋村さんの「子どもの遊びに関わる役割研究会」の研究と実践が、私たちに投げかけてくれたことは何でしょう？

☆まず自分の遊び体験を振り返ってみよう

おとなの役割は子どもと一緒にあそぶこと？遊びを教えること？プログラムを作ること？どこかに連れていくこと？イベントを企画すること？それとも何もしないことでしょうか？

子どもの遊びはだれかから教わるものではなく、自分たちの中に答えがあるのではないかと仮説を立て、まずおとなが遊び体験を振り返ってみましょう。

「思い出の体験」は自分だけのものではなく、それをきちんと意識化する必要があります。

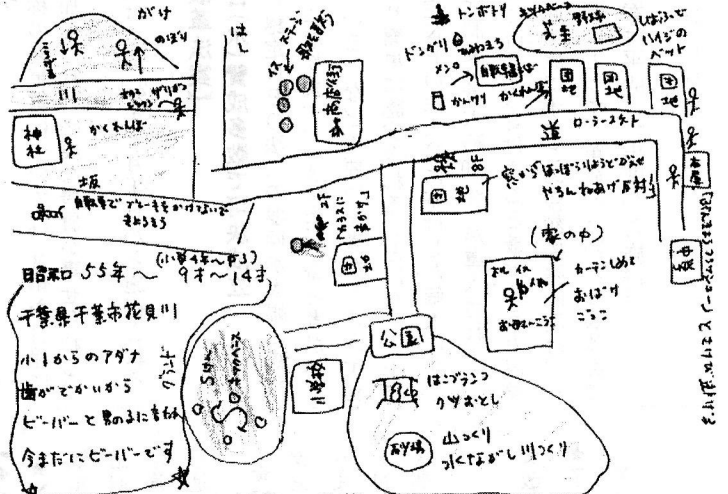
参加者全員が、子ども時代に遊んだことを絵地図にし、思い出せるエピソードを書き込み、近くの席の同士で発表しあう

(例)「塀をわたった」「ピンポンダッシュ」「たき火」「車が通るところをぎりぎりに歩く」「朝礼台で漫才」「ゴムの校庭をこすって肌をあてるとスベスベした」

「自転車でブレーキをかけないで坂を下りた」「川づくり・水ながし」「北方領土を返せ！の看板があった」「中州にきつねがいた」「お墓でかくれんぼ。夕方ひとだまがみえた」「脱穀した藁にもぐった」「食べられる草を食べてみた」

「おじいちゃんや友達の家でお菓子をもらう」といったお菓子つながり、「犬に給食のこりのパンをあげていた」といった動物つながりも多い。

まさに、自分の遊ぶこの場所が「大きなおもちゃ屋さん」で、おとなが子どものために用意した場所では遊んでいながら「浅く広く」もあるし「深い経験」もありました。



1980年代 千葉

★子どもにとって遊びとは、自分の生きている世界を知る」とびら

昭和の子どもたちだった人たちの遊び体験を振り返ってもらい、まとめたところ、こんな特徴がありました。

- ① お金がかからなくても遊べた
- ② 何でも遊びにした
- ③ どこでも遊び場にした
- ④ 自然・身の回りの環境や人とのふれあいがあった
- ⑤ 社会・世相・文化が反映されていた
- ⑥ 危険なことにも挑戦した
- ⑦ 大人が見たらできなかったことがあった
- ⑧ ケンカやけが、失敗をたくさん体験できた
- ⑨ 明日もきつと楽しい」という小さな約束があった

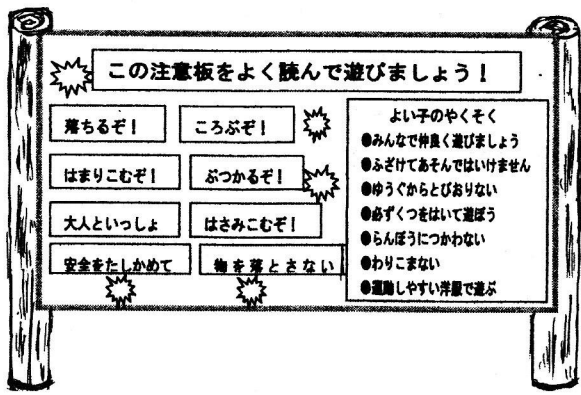
☆今の時代に子どもが育つ大切な要素は何か？

子どもの遊びに関わる役割研究会「TOKYO PLAY」では、東京都から「子どものヒアリング事業」の委託を受け、300人子どもの声を聴きました。その回答は次のようなものでした。

- ・ 小さい子の遊び場は多いが大きい子のためのものが少ない
- ・ 公園にベンチしかなくて、「木にのぼるな」など禁止が多い
- ・ クラブに入ってお金を払って遊ばなければならぬ
- ・ 中学生のあそび場はお金がかかる
- ・ 家の近くの道でのあそびはあぶない
- ・ お寺・神社・川・海に入れなくなっている
- ・ 学校の帰りが遅くなっている

子どもは、安心できる場があつて、初めて自分を自由に表現するようになりま

などの声があがり、この30年で遊びが様変わりしていることがわかります。昔も危険はあつたが、家の周りはおとなの生活の場であり、おとなの目ももつとありました。今はだれもいなければ即「危険な場所」になってしまします。お金のかかるコンピュータゲームは優秀すぎて、めんどろみが良いすぎて、自分でつくりだす楽しさがありません。



私達も、調査をしたり看板の写真を撮って持ち寄ったり、何かできることがあるのでは？

公園にもいろいろな看板が立っている。子どもが好きなことが全部禁止されている看板を、「便利ですよね。だれかが教えなければいけないでしょう」と肯定的に捉える人もいれば、「よい子の約束」「わりこんではいけません」・・・「順番よ！」と言うのに疲れたお母さんもいる。

市民から苦情ばかり受ける行政は看板を作らざるを得ない。

このような現実をどうしたらよいのでしょうか。

昔の子どもはおとなから離れて遊ぶ時間があり、仲間がいて、おとなが常に側にいたわけではありません。

とすると、遊び場のおとなの存在は微妙で、いるのがあたりまえではない。では、いてはいけないか、というところでもない。ジレンマがあります。

★リスクとハザードについて学ぼう

管理責任はとても大事なことです。

子どもは自分の限界に挑戦し、世界を広め、能力を高めようとする存在です。それが危険と紙一重であることは間違いない。子どもが遊ぶということは常に危険が内包されていることを肝に銘じてはなりません。

ケガにはリスクとハザードの二種類があります。

リスクは予見可能な、自分から挑戦するような危険です。リスクは、自己防衛力、危険察知能力といった、自分や他人を守る力を育てるために不可欠であること遊び場にいるおとなは認識し、そのことを親や保護者に伝え、過保護や過干渉から子どもを守るようにしなければなりません。

一方、ハザードは、回転いすの心棒が腐っていた、ブランコの鎖が腐っていたといった、子どもが予見不可能な、自分から挑戦したのではない、あつてはならない危険です。こちらは、考えうるあらゆる手をうち、排除する必要があります。

世の中の人全体を10としたら「多少のケガも子どもの成長には必要だ」という人と「ケガなんてありえない」という人の割合は何対何だと思えますか。

ここにいる人に挙手してもらっても3対7だと思う人、9対1だと思う人、とひらきがあります。

それでは、何対何にしたいのでしょうか。関わる人がバラバラではいけないのではないのでしょうか。不安を超えるためにはとことん話し合っ、できるだけ共有するしかない。子どもの環境を用意してあげるためには、おとなが勉強することが必要です。



☆みんなが楽になれ、安心できる遊び場を創ろう

今、あえておとなが子どもだけの世界を創らなければならなくなっています。それはたとえ、点、でも必要です。

「やめましようをやめましよう!」のとりくみを「TOKYO PLAY」はやっています。

いかにみんなが楽になれ、安心できる遊び場を創るか。高価な材料を使わないで、「やめて!」と言わないですむ遊び場です。

そこでは、子どもの手腕がアテにでき、エネルギーが爆発する瞬間をみることもできます。「ほんとおもしろいところはそこだよ!」というように場面に会えます。

子どもは、遊びこむといろんなことを表現できるようにあります。



嶋村仁志さんプロフィール

TOKYO PLAY 代表、IPA (子どもの遊ぶ権利のための国際協会) 東アジア副代表、(特) 日本冒険遊び場づくり協会理事

1968 年生まれ

1995 年英国リーズ・メトロポリタン大学社会健康学部プレイワーク学科高等教育課程修了

以後、羽根木(世田谷区)、川崎、むさしので、プレーリーダーとして活動。

2010 年 たくさんの人が子どもの遊ぶ環境を豊かにするための関わりが持てるようにと、「TOKYO PLAY」を立ち上げ、様々なプロジェクトを展開している。

生活とあそびは実は分かれていない。自分たちで家を建て、もの干し台をつくり、燃えるゴミと燃えないゴミの袋を分けてぶらさげたり、自分の世界を自在に発展させています。でも二週間来ないと、家は没収されるんです。そこで、おとなは先回りして「ヤボなことを言わない」ことが大切です。

人間はとても不安に弱い動物。子どもは受けた不安を遊びで表現することがあります。「地震ごっこ」に回りのおとなはいたたまれないおもしろいことをすることがある。でも子どもが不安なままおとなになつてしまふのはどうでしょう。

最近、遊び場が「子どもの居酒屋」だったらいいな、家とも学校ともちよつと離れて、上下でもない、親子でもない「斜めの関係」がある場をまちの中につくれないかな、と感じています。

(文責: 岡田)

(参考) 「子どもの『遊ぶ』を支える大人の役割」(プレイワーク研修テキスト)はTOKYO PLAYのホームページからダウンロードできます。

「地域の活動を豊かにする子ども文化地域コーディネーターとは」

～行政や地域の実態を把握しながら～

講師：中川幾郎（なかがわいくお）さん

日時：2011年4月25日（月）10:00～12:30

場所：千葉市民会館特別会議室 2

参加者：15団体 52人

プロフィール：1946年大阪府生まれ。1969年豊中市役所勤務、市長公室広報課長を最後に退職。帝塚山大学大学院法政策研究科教授。日本文化政策学会会長。

「みなさんがコーディネーターとして地域と格闘されるときに必要な知識、得する知識を渡したい。この話は実践していただきたい。うどんやの釜（ゆーだけ）では困る」と笑いから始まった講座は、私たちが取り組んでいる課題にこたえる学びの機会になりました。参加者からは「地域で活動していくことはまちづくりになると知らされた」「根底の問題に気づかされた」「気持ちが前へ上へ向いてきた、会員に伝え力にしていきたい」などの感想が寄せられました。まさに「学習は革命」です。病院と子どもと文化・地域をつなぐコーディネーターとして、実践に活かしていきましょう。

子どもにとっての芸術文化の意義

○東日本大震災

復興期に向けて何が大事になるか。人々の心の傷ついている状態をいかに修復していくか。

必要なのは芸術の力。泣けない、笑えないというのは最も不自由な状態で、そこから解放しないといけない。芸術には自己を相対化する力がある。

○芸術の存在意義

① 芸術は何の役に立つ？潜在能力を開発する

鑑賞能力、表現能力を与えることはそれ以外の能力をいっぱい開く可能性を与える

② 芸術は、秩序を動揺させ、破壊し、再構築もする

③ 芸術は、虚・悪・醜を教えることによって真・善・美を教えてくれる

④ 芸術は右脳思考を鍛え、結局は左脳を活性化させる

芸術体験がない子どもは太く育たない

○生活と芸術の相関関係～生活と芸術は密接だと理解すること～

芸術は生活を支え、文化産業を生み出し、日本経済を潤している

芸術のわかる、人の喜びがわかるビジネスマンを育てなければいけない

日本文化の高さは地方文化のエネルギーとその厚みの上に成り立っている

○子どもの可能性を開発する

ユネスコの生涯学習理論によると子どもの成長には段階がある

自己発見（私って一体誰？）

自己実現（私が、私らしく生きるとはどういうことか？）

自己変革（今までの私を、新しく変えていこう！）

社会参加（もっと沢山の人々、広い社会と出会う！）

↓
社会変革（できることから社会をより良く変えていこう！）

崩壊した地域社会を立て直そう！

地域社会は子どもを守り育てる責任があるが、地域・学校・家庭の教育力は衰えている

○閉じられた構造をじんわりと溶かしていかなければならない。溶かす力は挨拶と笑顔。

○ほんものの市民をつくろう

- ・市民にとって大事なものは定着、定住性…この土地から逃げないぞという覚悟
- ・現代市民の3条件…働く・社会貢献する・事あらば行動する
- ・市民とは時間・空間・人間の3つの間に対する愛情と敬意を持っている人

○アソシエーションとコミュニティの融合を目指して

地域社会はコミュニティ型で、アソシエーション型の子ども劇場とは異質である、と見極めた上で、子ども劇場には子どもと文化と地域をつなぎ直す仕事(=コーディネーター)をしてほしい。

人は誰でも「文化的な生活に参加する権利」がある

○「文化的に生きる権利」=表現・交流・学習の権利…文化活動の3つの側面に注目

表現・演技P→交流・コミュニケーションC→学習・蓄積S **PCSサイクルの活性化を**
学習は自分の皮をむくこと、自己変革

○自治体に学習機能があるか点検しなければいけない(施設・事業・人材を装備しているか)

行政ではまかないきれず、市民との協働が出てくる

○自治体文化政策存在の証は

- ①自治体文化条例は存在するか(文化政策はほとんどが自治事務)
- ②自治体文化振興計画は存在するか
- ③自治体文化政策の推進組織が、行政内部と外部機関の二つ存在するか
- ④上記のシステムが市民参画と協働により作り上げられてきたか

政策の4サイクル(形成、決定、実行、評価)が循環していると政策は後退しない

文化のまちづくりを進めよう

○まちづくりとは何か?

まずは人づくり、仲間作り、スキルをもった人をピックアップして人材のデータを整備する。
次に仕組み作り、事業作り。学習・交流事業がまだ欠けている。物作り(ハードウェア)は最後。
生涯学習の目的は社会の不平等を収束して個人的自己決定能力の確立及び集団的自己決定の確立。
税金を投入してやっているのだから個人的自己充足で終わらないで社会貢献をしよう。

“めだかの学校”を作ろう(「だれが生徒か先生か…♪」お互いに教えたり教えられたりして学んでいく)。

○ほんものの市民は自己発見、自己実現、自己変革、社会参加、社会変革をやって文化のまちづくりを!

そのためには**目標(ビジョン)、資源の自己測定(リソース)、他者からの評価(エバリュエーション)の循環**と**SWOT分析(強みS・弱みW・機会O・脅威T)**をしないと実現しない

市民社会、地域社会の必要課題を忘れないで

○要求課題(ディマンド)と必要課題(ニーズ)を峻別しよう

○必要課題を忘れないでほしい

必要課題に対する観察力、あるいは問題をえぐり出す力が必要

その力は未来に対する責任感、社会に対する危機感から生まれてくる



被災地への支援を行っています



東日本大震災へすでにされている支援内容、またはこれから計画しようとしていることをアンケートで伺い、回答いただいた団体正会員の皆様の支援活動の報告です。



【子ども一ぶ袖ヶ浦】

- ・会員の知り合いを通じ、被災地で活動している市民団体へふとんや自転車などの支援物資を届ける
- ・また、そこから紹介のあった現地の子育て支援 NPO へ会員から寄せられた絵本・おもちゃなどの支援物資を送る
- ・音楽活動をやっている会員が自主的に企画したチャリティーコンサートを共催団体としてバックアップ、「ふんばれニッポン！被災者応援コンサート」として実施。集まった義援金を日赤を通して被災者に届ける。
- ・袖ヶ浦市の博物館ミュージアムフェスティバルの催しとしてお呼びした劇団（人形芝居 燕屋）の方と一緒に公演後、募金活動。集まったお金は子ども NPO・子ども劇場全国センターへ
- ・会報誌などで呼びかけ 4/30 までに集まったお金を子ども劇場おやこ劇場全国フォーラムへ送金
- ・6/26(日)子育て応援メッセ in そでがうらでも募金活動とフリーマーケットを行う。集まったお金は子ども NPO・子ども劇場全国センターへ

【子どもネット八千代】

- ・4/19(土)イオン八千代緑が丘店「がんばろう日本！応援募金」に参加
- ・4/17(日)TAP DO! 公演に八千代市に避難されている方々をご招待

【四街道こどもネットワーク】

四街道市に避難されている方たちに対し、私たちの活動に招待している。

- ①4月1日 会員一品持ち寄りでお食事会を開催し、福島からの避難者を招待し交流した。大人4名 子ども4名参加
 - ②鑑賞会へ招待 6月3日「こまのたけちゃんあそびあそび」大人3名 子ども2名参加
- 今後も四街道市へ避難してきている子どもたちに対し、活動の案内などしていく予定。

【いんざい子ども劇場】

- ①1世帯 ワンコイン(500円)の募金協力を会員に依頼・・・継続中。
- ②7月23日(土)15時～19時 子ども縁日を企画
印西市、白井市に来ている被災地の子どもに招待状を送り、希望者は子どものお店を一緒に出来るようにする。
- ③子ども NPO・子ども劇場全国センターの被災支援金に寄付。

【子どもプラザ成田】

「子どもプラザとして何か考えているのでしょうか？」という会員からの声で、“震災支援準備金”を立ち上げ、第1回会議を5/20(金)に行った。その中で、子どもと文化芸術に関わることに對して支援していこうということになった。直接自分たちが現地で動くというようなことはできないけれど、どんな支援方法があるか考え、支援金は、私たちの活動の参加費の一部や、有志による地域のまつりの売上金を充てることとした。

【千葉中央おやこ劇場】

- ①支援物資を集め、稲毛駅前・なのはな治療院で集約されて、互理町逢隈小学校に届けられた。また、パンやお菓子の売り上げと設置した募金箱の金額をあわせ、日本赤十字社に送金した。
- ②街頭募金活動(4月11日、14時～16時)
千葉県内のNPOとともに、JR千葉駅前・クリスタルドームにて街頭募金運動を行った。
- ③宮城県亘理町・学用品などの物資配達(4月16日～17日)
千葉大附属小PTA役員さんのご実家が被災、学用品を中心に支援物資募集の依頼があり、みなさんに協力いただいた品物を互理町逢隈小学校に届けていただいた。
- ④HAPPY Bagプロジェクトに参加(4月26日ごろ)
子どもたちへ手作りのレッスンバックや袋物を送る活動をしている方のブログを見ての呼びかけに、会員を含む有志13名が作品を提供。上履き袋、ランチョンマット、体操着入れなど、総数104点を送った。

【緑区子どもサポートセンター】

あしたば文庫の本を3月 昭和の森のユースホステスユースに避難されている福島の方々に、4月 東北の被災地へ、5月 障がい者の放課後支援ハーモニーへ寄付した。

【子ども劇場千葉県センター】

- ①千葉駅前街頭募金をした。ちばNPO協議会のメンバーあわせて15団体30名が参加。この義援金はちばNPO協議会・ちばのWA!運営協議会で協議し、日本財団プロジェクト・つなプロ・佐原町並み支援金へ配分に送金した。
- ②子ども NPO・子ども劇場全国センター・子ども劇場おやこ劇場全国フォーラム、子どもの明日プロジェクト等の、被災地の活動等を支援するNPOへ寄付。
- ③岩手ホスピスの会主催 被災地のガン患者にタオル1枚でつくれる「タオル帽子」を作り届ける活動に参加。

液状化等の被災を受けた会員のいる県内の団体もあり、子どもも親も不安をかかえている。長期にわたる支援が求められます。

つながりから人生が変わる

千葉大学法経学部 4年 藤原忠士



私が子ども劇場さんと知り合ったのは、2009年度の「すもーるすてっぷ」の事業で、学生スタッフとして参加した時です。当時、私は西千葉のまちづくりに興味を持ち、さまざまな活動に参加していました。もともと子どもが好きで、すもーるすてっぷで子どもたちと接することで、私も楽しませていただきました。

西千葉では2000年から「第三土曜日」というお祭りが行われています。文字通り毎月第三土曜日に開催されており、地域の住民や商店街、NPO、県内の農家の方など多くの方が集まり、交流の場として賑わっています。会場のふくろう広場にいる人は、それぞれがそれぞれの立場で土曜日を楽しみ、小さな広場は笑顔で溢れ、とてもあたたかい雰囲気です。ちょうど子ども劇場さんと知り合ったのと同じ時期に土曜日を知り、とても魅力を感じた私は、2010年3月より「アミーゴ！プロジェクト」という学生チームの代表として第三土曜日を“運営”する立場になりました。参加者の一人として遊びに行くのはただ「楽しい」という気持ちでしたが、その楽しい場をつくることは予想以上に大変でした。

しかし、人に楽しんでもらった時の喜びもまた大きいものです。

私が西千葉のまちで魅力を感じるのは「人と人とのつながり」です。まちを歩けば誰かに会い、笑顔でいさつできる関係がある。困り事があれば支えてくれる地域の方々がいる。まちの中に安心できる「居場所」がある。そんな西千葉のまちが大好きです。

大学に入学してからまったく西千葉のまちを知らなかった私が、西千葉のまちづくりに関わり、多くの経験をさせていただいているのも、すべては「つながり」からです。人と人とのつながりは、人が内に秘めている可能性を引き出し、新しい自分を知り、人生が変わるきっかけになると思っています。

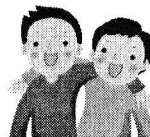
私は現在公務員を目指しています。人のつながりをつくり、人の人生を変えるような出会いを演出し、多くの方が元気に笑顔で過ごせるまちを創りたいと思っています。そして、私が関わった人たちが幸せな毎日を送り、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえる日が来ることを心から願っています。

来て 見て 千葉文

～「子どもの舞台芸術体験ひろば2011 inちば」の協働～

(財) 千葉県文化振興財団 千葉県文化会館 糸日谷智孝

私からのメッセージ



子どもと舞台芸術の豊かな出会いは、本誌第58号でも大きく特集していただきました私共の「文化振興ビジョン」においても重要なミッションと位置付けております。

そのためには専門家の積極的な提案、連携、協力が不可欠であると思っておりました。タイミングも相まって子ども劇場さんとともに「子どもの舞台芸術体験ひろば2011 inちば」(千葉県文化会館 8月25日(木))を創りあげる機会に恵まれました。

子どもたちにとって最初は、舞台芸術や文化施設は未知の世界でしょう。千葉県文化会館がどんなところかなんて想像すらできないかもしれませんが、それでもとにかく、来て、見て、体験してもらえよう。例えば、子ども劇場さんならではの人脈、ノウハウに拠るところが大きいのですが、各界で活躍するプロ、専門家を講師としたことが本事業のひとつの特徴です。つまり本物、良いものと出会い、実際に見て、ふれて、やってみることが、とても大切で

あるという考えです。やはりはじめての経験には、「感動」があってほしいと願います。また、確かに芸術各ジャンルの専門家はたくさんおりますが、トータルな「公立文化施設運営の専門家」はきわめて少ない、その意味で当財団が専門家たりうるための言うなれば challenge なのです。

私たちの存在理由は「文化をとおして、社会に貢献すること」に他なりません。

今回の協働をとおして、子どもたちに夢をあたえることができ、さらにより多くの県民に理解され、支持される組織、文化施設に成長するひとつのステップとなることを目標とします。

子どもの舞台芸術体験ひろば2011 In ちば

日時：2011年8月25日 10:00～17:00

場所：千葉県文化会館 小ホール 会議室等

プログラム：

*バレリーナになろう *こまのたけちゃんとおぼろ！

*表現遊び2時間で作るドラマ*みたことのない生きものをつくろう！

*けんぶん探検ツアー

館山ミステリー探検ツアー <館山戦跡めぐり>

(特) 四街道こどもネットワーク 理事長 萱沼佐智子

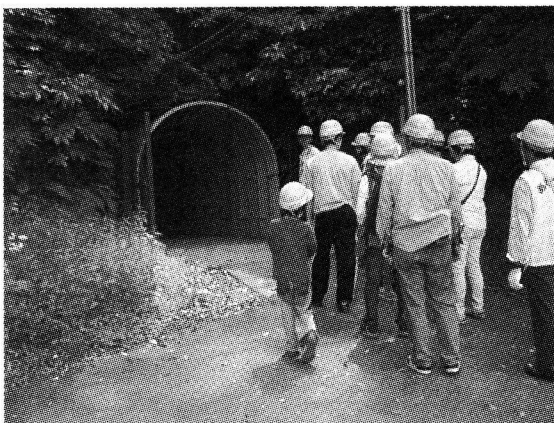
私たち四街道こどもネットワークでは、2011年7月3日(日)四街道市文化センターで「知覧・青春」～アイ・アム・ヒア!～を定例の鑑賞会の位置付けにしました。その事前活動の一つとして館山の戦跡めぐりに行きました。

「知覧?知覧に行くことはできないか」という話から「知覧に行くには2泊3日必要だよ」という話で「無理無理、子どもが心配、2日も家を空けられないし子どもが参加出来ないよ」の声から、「千葉県にもあるでしょう」・・・「あるある」ありました。

戦跡めぐりでは、バスを使い目的地まで。そこに到着したら直ぐに館山公民館の一部屋をお借りして60分の座学から入りました。安房文化遺産フォーラムの副代表の池田恵美子さんの説明が簡潔で良くわかりました。バスのなかで元気すぎた人もしっかりと聴き真剣な眼差しを感じました。少し不安だった眠気も吹っ飛び真剣そのものでした。

そして今日の目的地「館山海軍航空赤山地下壕」に着きました。

地下壕のなかは危険もありヘルメットを全員装着し懐中電灯を片手にして、入ることが許される場所でした。なかは何キロにも及ぶ網の目の様な洞窟でできていました。その赤山壕はツルハシ1本で掘り、壁面は地層がはっきりわかり地球の歴史を肌で体感できました。地層は左の壁面から頭上を通り右の壁面に楕円を描くように、また、等高線のようにもありません。



次に館山海軍航空隊の戦闘機を隠すための「戦闘機用掩体壕」を見学しました。ゼロ戦の姿を想像できる在りのままの格納庫でした。知覧のあの山を飛ぶことのできた物もここに存在してたであろうと思うとドキドキでした。そして「洲の崎海軍航空隊の射撃練習場」は、砲弾の跡が今でも岩に刻み込まれています。何だか信じられない場所でした。

もしかしたら、映画の世界に迷い込んだのかしらとも思える秘密の基地。一般には公開されていません。私有地の一角の見学地でした。

同世代の仲間の参加が少ない中、高校生の菊地海人君の声をききました。

『多くの大人と、母、弟で参加したバスツアーでの1番の思い出は、館山海軍航空や赤山地下壕跡を、ヘルメットをかぶり中に入ったことです。そこは、涼しい別世界でした。今も不明なことばかりですが、案内人は語りついでいくんだそうです。僕はあの地下壕はたのしかった、大きなライトをしっかり持って行ったらもっとよく見えたろうに、僕の携帯電話のライトで辛うじて見たのが残念でした。次回このような企画があれば必ず参加をしたいなあ。』

そして、公演当日。433名の地域の方々をお迎えし一緒に楽しむことができました。今回舞台に7名のエキストラ(大人2名、大学生1名、小学生4名)が登場、セリフなかなかのものでした。役者とアドリブで渡り合うなどすばらしい演技を披露してくれました。

編集後記

震災から早いもので4か月がたとうとしています。気仙沼に「初かつお水揚げ!」など嬉しいニュースもありますが、まだまだ被災地は復旧がままならないところもあり、皆さんが元の生活に戻るのには時間がかかります。身近なところでは、震災を機に自分たちの生活やライフスタイルを改めて考えてみる人も増えているようです。家族、友人、地域の在り方を考えたり、今まで当たり前のように消費していた電気の「節電」を意識し始めたりと、それぞれが自分のできる「がんばれ東北・がんばれ日本」を実行している暑い今日この頃です。

舞台 なま情報

- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・ 役員の下見は5名まで無料
 - ・ その子どもは1人1,000円
 - ・ その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第61号別冊 <2011年8月~10月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ うりんこ	パイレーツオブ花山田小学校	9/10	18:00	船橋市民文化ホール	船橋	小学生以上
◇ 劇団風の子	陽気なハンス	9/19	未定	千葉市小仲台小学校体育館	千葉中央	小学生以上
◇ 演劇集団 円	古典こてんー日本語研究あそび講座ー	10/16	14:30	四街道市文化センター	四街道	小4以上~大人

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ブーク	あらどこだ	9/9	未定	千葉市打瀬公民館	共催千葉西	0123歳児と親
☆ オフィス・アートプラン	きみはしっている・だれもない	9/10	未定	市川市文化会館大会議室	市川北	幼児~大人
☆ 人形劇団ブーク	あらどこだ	9/15	午前予定	市川東部公民館	共催市川北	0123歳児と親
☆ ひぼぼたあむ	チップとチョコ	10/2	午後予定	印旛明誠高校内	いんざい	乳幼児~大人
☆ 人形劇団クラルテ	おひさま劇場	10/23	未定	成田市内	成田	乳幼児~大人
☆ あ・ぶ・ぶ@人形劇場	こいぬとこねこはゆかいなななかま	10/23	11:00	船橋市中央公民館講堂	船橋	幼児の親子
☆ ひぼぼたあむ	チップとチョコ	10/30	未定	習志野市内公民館	ならしの	2歳以上

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ 生音空間	馬頭琴とホーミーの調べ	9/4	18:00	市川市徳願寺本堂	市川行徳	高学年~大人
♪ ミューサポ	OMU☆CHA	9/4	未定	白井市文化会館中ホール	白井	幼児~小低学年
♪ ミューサポ	OMU☆CHA	9/4	未定	白井市文化会館中ホール	白井	小高学年~大人
♪ 札幌NKミュージック	もうひとつの音楽会	9/21	11:30 15:30	八千代市総合生涯学習プラザ	八千代	幼児~小低学年
♪ 根岸弥生	チャリティーピアノコンサート	10/16	14:00	流山生涯学習センター	流山	幼児~大人

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ 市川民話の会	市川★夏の夜唄	8/28	18:30	市川市中央公民館	市川中央	高学年~大人
◎ 民族歌舞団荒馬座	みんなのおまつりひろば	9/4	11:30	鎌ヶ谷市東部学習センター	鎌ヶ谷	幼児~大人
◎ 日本伝統芸能を守る会	わんぱく寄席	10/1	18:30	習志野市民会館	ならしの	小4以上~大人
◎ どん亀座	キマグレサーカス	10/23	14:00	八千代台小学校	八千代	幼児~大人

きらきらわくわく情報

2011年8月～10月

活動	日程	場所	主催団体
・ お母さんの居場所「ぶらっとhome」	8/3.17.24.31.9/7.14.21.28.10/5.12.19.26	市川市大野地域ふれあい館	市川北
・ 幼児サークル のびのびキッズ福祉館	8/5.9/2.9/16.10/7.21	成田市保健福祉館	成田
・ お母さんの居場所「こーひーかつぷ」	8/22.9/5.10/3.17	市川市菅野公民館	市川北
・ 幼児サークル のびのびキッズ江弁須	8/23.9/13.27.10/11.25	成田市江弁須区民館	成田
・ 幼児サークル ぴよんぴよんキッズ うさぎ	8/25.9/8.22.10/13.27	市川市信篤公民館	市川中央
・ 幼児サークル ぴよんぴよんキッズ かえる	8/25.9/15.29.10/6.20	市川市信篤公民館	市川中央
・ 幼児サークル のびのびキッズ玉造	8/25.9/8.22.10/6.20	成田市玉造公民館	成田
・ 乳幼児とお母さんのたまり場 「たまごキッズ」	8/26	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
・ 幼児サークル わいわいキッズ	8/26.9/9.30	市川駅南公民館	市川中央
・ お母さんのエアロビクラブ「シェイク」	8/26.9/2.16.10/7.21	市川市曾谷公民館	市川北
・ 幼児サークル わくわくキッズ	8/30.9/6.20	市川市勤労福祉センター	市川中央
・ 幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいすぺーす	9/1.15.10/6.20.11/17	小中台地域福祉交流館	千葉北
・ 乳幼児とお母さんのたまり場 「たまごキッズ」	9/2.9.16.30	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
・ 幼児サークル どんぐり	9/5.12.26.10/3.17.24.31	八街市営キャンプ場	やちまた
・ 乳幼児とお母さんのための体験と交流のひろば	9/6	袖ヶ浦市根形公民館	袖ヶ浦
・ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日コース	9/6.17.10/11.25	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
・ 幼児サークル どんぐりくらぶ	9/6.15.27.10/4.13.25	白井市内公園・公民館	白井
・ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	9/8.16.22.30	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
・ ほっとぬくぬくあそび/リトミック	9/8.10/27	小中台地域福祉交流館	千葉北
・ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日コース	9/8.17.10/13.27	市川市行徳公民館	市川行徳
・ 2歳児から未就園児の親子ふれあい体験あそびActive Kids	9/8.22.10/27.11/10.24	小中台地域福祉交流館	千葉北
・ 幼児サークル「ぶらんこ」	9/9.30	流山市内公民館	流山
・ 未就園児とママの遊びあい「プレンジ」金曜コース	9/9.30.10/14.28	市川市曾谷公民館	市川北
・ 未就園児とママの遊びあい「プレンジ」月曜コース	9/12.26.10/17.31	市川市東部公民館	市川北
・ てあそびうたと親子体操	9/14.28.10/12.26	習志野市内公民館	ならしの
・ 幼児親子ワークショップ ぴよんぴよん	9/14.10/5.19	村上アース・メイト	八千代
・ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	10/6.14.20.28	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
・ 乳幼児とお母さんのたまり場 「たまごキッズ」	10/7.14.21.28	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
・ 乳幼児親子ワーク ミニぴよんぴよん	10/13.27	村上アース・メイト	八千代
・ 幼児サークル「ぶらんこ」	10/14.28	流山市内公民館	流山
・ 子育て応援メッセ2011inふなばし	10/23	船橋市中央公民館	船橋
・ 子育てひろば「こどもっと」	毎週木	松戸 天神庵	松戸
・ 子育て支援 ぶらっとたまり場 はっぴのおうち	毎週火・水	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba
・ おしゃべりほっとスペース(きらきらひろば)	第2. 4火	市川市信篤公民館	市川中央
・ おしゃべりほっとスペース(ぴよぴよひろば)	第2. 4水	市川中央事務所	市川中央

乳幼児の活動



いろいろ体験活動



	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ体験活動	がき森デイキャンプ	8/1	八千代市ガキ大将の森	八千代
	ワクワクドキドキ科学教室	8/3	千葉市内	千葉西
	放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	8/3.5.17.19.24.26.31	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	子どもキャンプ	8/5~8	奥多摩バットレスキャンプ場	佐倉
	野田七夕祭り・野田組出演	8/6・8/7	野田市内	野田
	そーらん自主練習	8/6.9/3.17.10/1.15	四街道千代田公民館	四街道
	仮設実験教室「空気と水」	8/11	志津コミュニティセンター	佐倉
	こどもキャンプ	8/11・8/14	栃木県湯西川やすらぎ森キャンプ場	野田
	川めぐりと散策	8/21	印西市木下方面	いんざい
	夏の和太鼓体験	8/22	勝田台文化センター	八千代
	ドキドキ科学ワールド(低学年むけ)	8/23	千葉市中央コミュニティーセンター	千葉中央
	夏の終わりのデイキャンプ	8/24	八千代市ガキ大将の森	八千代
	ドキドキ科学ワールド(高学年むけ)	8/24	千葉市中央コミュニティーセンター	千葉中央
	ワクワクドキドキ科学教室	8/25	千葉市内	千葉西
	子どもキャンプ(小4~)	8/26~28	丹波東キャンプ場	白井
	10代の保育ボランティア	8/26	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	きもだめし	8/26	富里中央公園	成田
	夏のバス遠足	8/27	房総のむら	野田
	子ども企画「夏祭りとおぼけ屋敷」	8/27	子どもサポートセンター事務所	緑区子どもS・C
	そーらん自主練習	8/27.9/10.24.10/8.22	四街道南小学校	四街道
	参道発見スタンプラリー・ちゃんばらごっこ	8/28	成田山表参道周辺	成田
	科学絵本作家江川多喜雄氏による工作教室	8/28	市川市市民会館	市川中央
	夕涼み会	8/28	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
	デイキャンプ	8月下旬	今川キャンプ場	浦安
	放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	9/2.7.9.14.16.21.28.30	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	アツタバー・ハンワークショップ(小学生対象)	9/4	流山市内公民館及び公園	流山
	大人のあそぼうかい(合唱)	9/12	市川市行徳公民館	市川行徳
	和太鼓響	9/12・10/17	八千代市勝田台文化センター	八千代
	プレーパーク・ドラム缶風呂	9/19	八街市営キャンプ場	やちまた
	お泊り会	9/23~24	原トピア	佐倉
	子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2011」	9/23~24	千葉県立現代産業科学館	市川中央
	月例体験活動「Sun2Go2(サンサンゴー)あそぼう	9/25・10/23	若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
	田んぼで稲刈り	9月下旬	小山町田んぼ	緑区子どもS・C
	子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2011」	10/1~2	市川市行徳公民館	市川行徳
	七五三祝いの会	10/2	印旛明誠高校(予定)	いんざい
	放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	10/5.7.12.14.19.21.26.28	四街道地区コミュニティセンター	四街道
プレーパーク・ドラム缶風呂	10/9	八街市営キャンプ場	やちまた	
シアター うん・どうかい	10/22	金沢小学校体育館	緑区子どもS・C	
ハロウィン	10/23	印西市内商業施設	いんざい	
和太鼓体験2011	10/23・30	八千代台文化センター	八千代	
子育て応援メッセ2011inふなばし	10/23	船橋中央公民館	船橋	
落花生の収穫	10/29	印西市内畑	いんざい	
公園での遊び支援”放課後どきどきユニット”	毎週月(夏休み除く)	千葉市西都賀第一公園	Wakaba	
講演会・学習会	北島尚志講演会「あそびの中で育つ力」	9/15	八千代市勝田台文化センター	八千代
	永野むつみ絵本塾	9/21	成田市内	成田
	永野むつみ講演会	9/22	印旛明誠高校(予定)	いんざい
	永野むつみ講演会	10/17	佐倉ミレニアムセンター	佐倉
高学年の活動	子どもキャンプ2011	8/6~8	八千代市ガキ大将の森	八千代
	子どもキャンプ	8/11~14	市原市民の森キャンプ場	緑区子どもS・C
	こどもキャンプ	8/15~18	あすなろの里	流山
	市川浦安青春交流会「夏ふえ」	8/17~19	佐倉市草ぶえの丘	市川北
	子どもキャンプ	8/19~22	長野県立湯川キャンプ場	Wakaba
	子どもキャンプ	8/19~21	中津溪谷キャンプ場	成田
	高学年キャンプ	8/26~28	大房岬キャンプ場	やちまた
	「馬頭琴とホーミーの調べ」事後交流会	9/10	市川市行徳公民館	市川行徳

子どもと文化 イベント情報

◆ 子どもの舞台芸術体験広場

2001inちば
8月25日(木) 10:00~17:00
場所:千葉県文化会館参加費:一回300円
対象:主に小学生
プログラム
・バレリーナになろう♪
・こまのたけちゃんとおぼろ!
・見たことのない生きものをつくらう!
・表現遊び
・けんぶん探検ツアー
プログラムにより時間が違います
お問合わせ下さい。
主催/千葉県文化振興財団
(特)子ども劇場千葉県センター
申込先:(特)子ども劇場千葉県センター
Tel. 043-301-7262

◆ 科学絵本作家江川多喜雄氏による 工作教室

8月28日(日) 13:00~16:00
場所:市川市市民会館第2会議室
参加費:未定
主催/(特)市川子ども文化ステーション
中央地区
Tel. 047-332-3024

◆ 中西新太郎氏講演会

「なぜ今、子どもは生きづらいのか?」
9月3日(土) 開演10:30~
場所:市川市文化会館大会議室
参加費:1,000円
主催/(特)子ども劇場千葉県センター
Tel. 043-301-7262

◆ ほっとぬくぬくあそび/リトミック

9月8日(木) 10:00~12:00
場所:千葉市小仲台地域福祉交流館
参加費:1,000円
主催/千葉北おやこみるあそび会
Tel. 047-332-3024

◆ 0.1.2.3はじめてのおしばい

人形劇団ブーク公演「あらどこだ」
9月7日(水)
場所:千葉市緑区あすみが丘プラザ
9月8日(木)
場所:千葉市若葉保健福祉センター
9月9日(金)
場所:千葉市美浜区打瀬公民館
9月15日(木)
場所:市川市東部公民館
9月16日(金)
場所:市川市勤労福祉センター
主催/(特)子ども劇場千葉県センター
Tel. 043-301-7262

◆ 劇団うりんご公演

「パイレーツオブ花山田小学校」
9月10日(土) 開演18:00~
場所:船橋市民文化ホール
料金2,000円(小学生以上)
主催/(特)船橋子ども劇場
Tel. 047-424-0851

◆ 北島尚志公演会

「あそびの中で育つ力」
9月15日(木) 10:00~11:30
場所:八千代市勝田台文化センター
参加費:大人1,200円

◆ 八千代市1%支援制度対象事業

※札幌NKミュージック公演
「もうひとつの音楽室」
9月21日(水) 1st11:30 2st15:30
場所:八千代市勝田台文化センター
※どん亀座公演
「キマグレサーカス」
10月23日(日)開演14:00
場所:八千代台小学校体育館
どちらも参加費2,000円(3歳以上)
主催/(特)子どもネット八千代
Tel. 047-486-4699

◆ 子どもがつくるまち

「ミニ★いちかわ2011」
9月23日(金祝日) 24(土)
時間:10:00~15:00
場所:千葉県立現代産業科学館
料金:300円 対象4歳~18歳
主催/市川子ども文化ステーション中央地区
Tel. 047-332-3024

◆ 七五三祝いの会

10月2日(日) 10:00~(予定)
場所:印旛明誠高校(予定)
内容:祝いの会と人形劇鑑賞
主催/(特)いんざい子ども劇場
Tel. 0476-46-6287

◆ 根岸弥生チャリティピアニソート

10月16日(日) 開演14:00
場所:流山生涯学習センター
料金:大人2,200円高校生以下1,200円
当日:2,700円
問合せ/(特)流山おやこ劇場
Tel. 04-7152-0446

◆ 永野むつみ講演会

10月17日(月)
10時:乳幼児編 13時:思春期編
場所:佐倉ミレニアムセンター
料金:会員800円一般1,000円
主催/(特)NPO佐倉こどもステーション
Tel. 043-487-1655

◆ 人形劇団ひばたあむ公演

「チップとチョコ」
10月30日(日)対象:2歳以上
場所:習志野市内公民館
時間、料金はお問合わせ下さい
主催/(特)ならしの子ども劇場
Tel. 047-451-3676

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● 千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧			
● NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387
● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-255-1045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-295-4150
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人 子どもとまつど	047-386-9154	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● やちまたおやこ劇場	043-444-6462
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
● 鎌ヶ谷おやこ劇場	047-412-0234	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-339-7809
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 里山会	047-482-4613
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262